

Japanese-German Graduate Externship

日独共同大学院プログラムニュースレター

2008 (平成20)年3月発行

〒464-8602 名古屋市千種区不老町 名古屋大学物質科学国際研究センター事務室

日独共同大学院プログラム HP <http://irtg.rcms.nagoya-u.ac.jp/>

山本副総長、ミュンスター大学訪問

今年9月6・7日にミュンスター大学で開催された第4回日独共同セミナーに、名古屋大学から山本副総長が出席されました。今回は日本学術振興会の国際事業部から丹生課長も参加され、日本側コーディネーターの巽教授やドイツ側コーディネーターのProf.Erker にも加わってのミュンスター大学総長との会談が行われ、セミナー参加者の活発な研究発表と同時に、このプログラムにおける名古屋大学とミュンスター大学間の盛んな交流も確認されました。



セミナー

第3回日独共同セミナー

開催日時：2007年4月19・20日（名古屋大学にて）

第4回日独共同セミナー

開催日時：2007年9月6・7日（ドイツ・ミュンスター大学にて）

Field trip

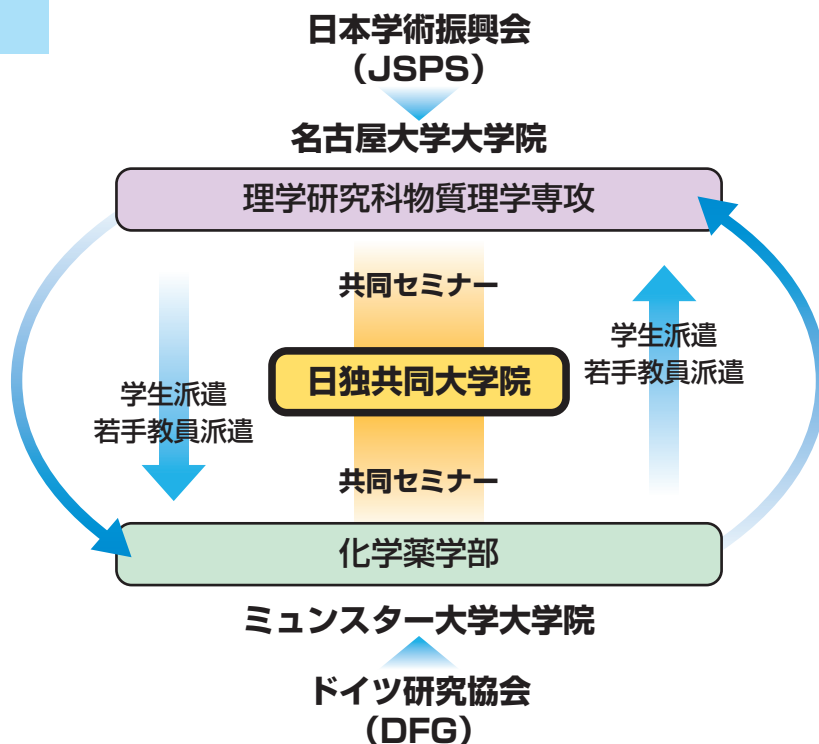
2007年 8月25日（土）陶芸体験（愛知県瀬戸市）

2007年11月28日（水）名古屋工業大学研究室訪問（愛知県名古屋市）

今年度の派遣実績

派遣学生6名 教員派遣3名（受入学生9名 受入教員3名）

このプログラムのしくみ



日独共同大学院プログラムが正式採択されて、今年も6名の博士課程後期学生がドイツへ旅立ちました。どの学生も、日々の研究・実験の合間に必要書類の準備や荷物をまとめ、また長期にわたりミュンスターに滞在する学生は、残す下宿先の大家さんとの不在中の連絡調整もしたりと、慌ただしく旅だてて行くようです。またドイツから派遣されてきた学生とキャンパス内で顔を合わす時は、ベッドの大きさは大丈夫か、とか、日本の枕で寝られるかと、研究の話と同様、毎日の生活を充実して送ってくれている



のかと声をかけてしまいます。どの学生も健康で多くの友人をつくり、実りのある研究生生活を送って欲しいと願っています。

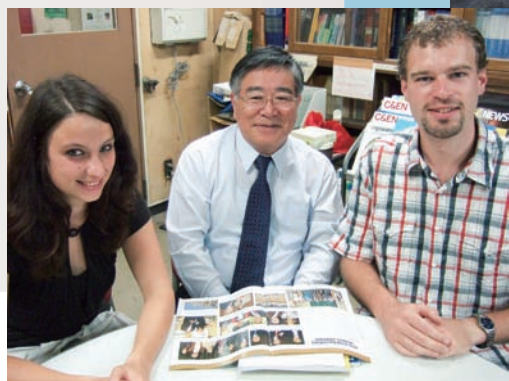
日独共同大学院プログラム 事務担当

平成19年度 受入学生

- 氏名 Florian Eweiner
期間 2007年4月5日～2007年10月3日
受入研究室 無機化学研究室（巽和行教授）
- 氏名 Wilhelm Hemme
期間 2007年5月1日～2007年10月31日
受入研究室 分子機能化学研究室（阿波賀邦夫教授）
- 氏名 Ludger Schmiech
期間 2007年5月31日～2007年8月31日
受入研究室 有機化学研究室（上村大輔教授）
- 氏名 Daniela Keller
期間 2007年5月31日～2007年8月31日
受入研究室 有機化学研究室（上村大輔教授）
- 氏名 Benedikt Cramer
期間 2007年10月2日～2007年12月31日
受入研究室 有機化学研究室（上村大輔教授）
- 氏名 Verena Trepohl
期間 2008年1月8日～2008年7月31日
受入研究室 特別研究室（伊丹健一郎准教授）
- 氏名 Nadine Rosenberger
期間 2008年1月8日～2008年3月2日
受入研究室 生物無機化学研究室（渡辺芳人教授）
- 氏名 Matthias Quick
期間 2008年2月1日～2008年7月31日
受入研究室 特別研究室（伊丹健一郎准教授）
- 氏名 Christian Wiese
期間 2008年2月1日～2008年7月31日
受入研究室 生物無機化学研究室（渡辺芳人教授）

平成19年度 受入教員

- 氏名 Richard Göttlich
期間 2007年7月31日～2007年8月1日
- 氏名 Bart Jan Ravoo
期間 2007年12月18日～2007年12月22日
- 氏名 Barnhard Wunsch
期間 2008年2月10日～2008年2月16日
- 氏名 Frank Glorius
期間 2008年3月10日～2008年3月17日



平成19年度 派遣学生

氏名 谷野聡一郎
期間 2007年5月31日～2007年11月8日
派遣先研究室 Prof. Gerhard Erker
研究課題 ホスフィンおよびボランを置換基に持つ
メタロセン錯体による水素分子のヘテロ
リティックな活性化

氏名 許述
期間 2007年9月29日～2007年12月6日
派遣先研究室 Prof. Martin Oestreich
研究課題 生物活性物質の合成研究

氏名 阪本真由美
期間 2008年1月6日～2008年3月23日
派遣先研究室 Prof. Gerhard Erker
研究課題 かさ高いチオラート配位子を有する第9
族遷移金属錯体の反応

氏名 浅田有紀
期間 2008年2月1日～2008年3月2日
派遣先研究室 Prof. Armido Studer
研究課題 カーボンナノチューブの化学修飾とその
評価

氏名 村田健史
期間 2008年2月16日～2008年3月17日
派遣先研究室 Prof. Hans-Ulrich Humpf

氏名 畑中翼
期間 2008年2月24日～2008年8月3日
派遣先研究室 Prof. Frank Glorius
研究課題 含窒素ヘテロ環カルベン配位子を有する
鉄錯体を用いた触媒反応の開発

平成19年度 派遣教員

氏名 吉川浩史
期間 2007年9月22日～2007年9月28日

氏名 大木靖弘
期間 2007年12月2日～2007年12月10日

氏名 山田泰之
期間 2008年3月24日～2008年3月30日

